



家庭数
平成26年6月5日
大田区立嶺町小学校
PTO団長 山本浩資
夏休み夢学校PJ

夏休み夢学校プロジェクト(PJ)経過報告

先日は、希望講座アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

アンケートを実施して、分かったこと

- 参加希望者（子供）が、講師・講座（大人）の数を大きく上回っている。
例年間かれる不満につながっている。応募しても当たらない。男の子向け、低学年向け、講座自体の数が少ないなど。
- 参加希望者の希望が多様化している。
アンケートに希望のあった講座は138件に及ぶ。例年実施されていた講座だけではカバーできていない。
- 食品講座は人気が高く、特に希望者と定員の差が大きい。
例えば水餃子作りは、定員20名に対して200名の希望あり。

この大きな需要（参加希望者）と供給（講師、講座）のギャップを埋める解決策を検討していかないと、例年出ている不満解消にはつながらないでしょう。アンケート結果をPTOホームページに公開しました。アンケート結果詳細は「嶺町小学校PTO」で検索！

需給ギャップをどうやったら埋められるのか？

ひとつには、子供たちの希望にあった講座を、もっと増やしていくことが必要でしょう。そのためには、

- ・講座開催するための運営負担を減らすこと。
- ・講師、講座発掘のプロセスを作ること。

この二つが重要だと考えています。

現在、PJチームではこの二つの課題を解決するために、講座の企画から開催までのプロセスを見直しています。

例年は、委員会が取りまとめて作業をしていました。かなりの人手を要する作業で、20人程度の方に短期間に密度の高い作業をお願いしていました。

しかし、今年からはボランティア制での運営を目指していますので、出来るだけ運営負担を減らすことを検討しています。そこで、講座開催までのプロセスを見える化し、webやメールなどの利用で事務工数を削減できるものは、検討を進めています。検討中のプロセスを公開しているので、ぜひご覧ください。

「PTOホームページ→夢プロジェクト→活動中のプロジェクト→夏休み夢学校」検索

講座開催までの運営負担を減らすことで、講座を企画したいという意思がある人が簡単に講座を企画、開催することが出来るようになります。そうすると、例えば何人かの保護者が集まって、自分の子供たちが参加したいと思う講座を企画できるようになります。誰かが企画してくれるのを待つのではなく、やりたいという意思のある人が講座単位で開催できる仕組みを作ることで、開催される講座の種類、数、共に増えていき、需給ギャップは埋めていけるのではないかと考えています。

あなたがこのPJで手伝えること

PJメンバーがある程度仕組みを作った後は、あなたの出番です。貢献できるものがあれば是非協力してください。

「1. 講師として立候補する。」・・・上述のアンケート結果で希望が出ているものは受けたい子供がすでにいるものです。あなたが教えてあげることができるなら是非お願いします。アンケートで希望が出ていないものでも、あなたが子供のためになると思うものは是非提案してください。例年、低学年向け、男の子向けの講座は特に不足しています。

「2. 講師になってくれる人、あるいは企業の出前授業など講座を探す。」・・・あなたが講師になれなくてもいいです。あなたの周りに講師として子供たちに教えてほしいと思う大人はいませんか？その人に声をかけて講師を引き受けてくれるようお願いしてみてください。また、昨年はキャノンやANA、東大などの企業や学校から出前授業を実施してもらいました。他にもこういう講座があるよ、というものがあれば是非提案してください。

「3. サポーターとして講座運営に協力する。」・・・例年は委員会の方がまとめて講座運営に必要な諸々の活動をしていました。例年との違いは、①講座単位のサポートなので活動負担が軽減されている、②IT化することで事務処理を簡単にしている、ことです。また、メリットとして、サポーターのお子様は優先的に講座に参加できるようになります。

近日中に現在PJメンバーで企画を進めている講座一覧を公開します。具体的にどうPJを手伝ったらいいのか、詳細もその時にお知らせします。

夏休み夢学校PJに関する問い合わせはこちら dreamschool@minesho-pto.com

以上